

アジア太平洋

ディスレクシアフェスティバル



Asia Pacific Dyslexia Festival 2017

～ダイバーシティとアイデンティティー～

アジア太平洋のディスレクシアがつながります

ディスレクシアとはLD(学習障害)のなかでも、知的能力及び一般的な理解能力などに特に異常がないにもかかわらず、文字の読み書き学習に著しい困難を示す状態です。

日時: 2017年10月21日(土)10時～17時、22日(日)10時～16時

場所: 日本財団会議室(東京都港区赤坂1-2-2)

対象: 教員、支援者、保護者、本人、研究者: 教育やLDに興味のある方ならどなたでも

参加費: 事前登録 大人 2日5000円、1日3000円(子供料金あり)

お問い合わせ: apdf.japan@gmail.com

詳細・申込み: <http://www.npo-edge.jp/educate/apdf/>

シンポジウム、ワークショップ、 才能展、展示体験ブース

- 各地のディスレクシア教育事情
- ティーチートレーニング
- MI(多重知能)
- 教室における合理的な配慮
- 支援機器

参加予定国: シンガポール、タイ、ベトナム、インド、
香港、マレーシア、インドネシア、ブータン



主催: APDF2017実行委員会(委員長: 藤堂栄子、副委員長: 柘植雅義、宇野彰)

共催: NPO法人エッジ、発達性ディスレクシア研究会

後援: 厚生労働省、文部科学省、東京都、東京都教育委員会、日本ディスレクシア協会、日本LD学会、Embassy of the Republic of Singapore、Dyslexia Association of Singapore、Dyslexia International、JDDnet、ブリティッシュ・カウンシル、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)、公益財団法人東京YMCA、全国LD親の会、東京私立中学高等学校協会

助成: 日本財団、国際交流基金アジアセンター

beyond2020認証事業

フェスティバル・プログラム



シンポジウム

10/21 土曜日

10:00～12:00

[シンポジウム1: アジア太平洋地域のディスレクシアへ教育:最新動向]

座長: 柘植雅義

14:30～17:00

[シンポジウム2: アジア太平洋におけるティーチャートレーニング]

座長: 宇野彰

10/22 日曜日

10:00～12:00

[シンポジウム3: マルティプル・インテリジェンス - アジア各国の多才なディスレクシアな若者達]

13:00～16:00

[シンポジウム4: ディスレクシアへのサポートツールと合理的な配慮]

ワークショップ

シンセティック・フォニックス紹介: 山下桂世子 (支援者向け)

当事者VS開発者 コラボセッション (どなたでも)

アセスメント気づきのポイント (保護者・当事者向け)

国語の教え方のコツ (支援者・保護者向け)

ディスレクシア疑似体験 (どなたでも)

クリエイティブセッション (小中学生)

DXセミナー (中学生以上)

DX会 - 働き方について (DX当事者向け18才以上)

親子相談室 (困っている親子)



才能展

出展者:

Mackenzie Thorpe

Vince Low

濱口瑛士

藤堂高直

Aqillurachman Prabowo



展示ブース

サポート機器:

音声教科書・電子辞書

文具

書籍

感覚の過敏・鈍麻

教室スペース(模擬)

